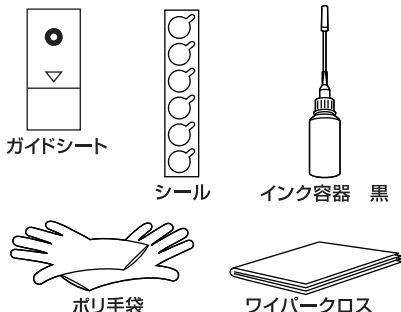


THR-016E インクジェットプリンタ用
詰め替えインク
取扱説明書

EPSON
MJIC8用 黒

セット内容明細

インク容器 黒(20cc入り)	1本
ガイドシート	1枚
シール	1セット
ワイパークロス	1枚
ポリ手袋	1セット
取扱説明書	1枚



△ご使用及び保管に関する注意

使用上の注意

- 他社の詰め替えインクをご使用になられたカートリッジには本製品は使用しないでください。
- インクがついてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなりますので、すぐに石けんや水で洗い流してください。万が一、インクが目に入った時は、直ちに水で洗い流し、眼科医の診断を受けてください。
- 適応カートリッジ以外には本製品は使用しないでください。
- カートリッジの寿命は、詰め替え回数4回が限度です。
- ご使用の際には必ず取扱説明書をよく読んでから、詰め替え作業を行ってください。
- 空のまま、長期間放置したカートリッジには、使用しないでください。

保管上の注意

- 直射日光の当たる場所を避け、冷暗所に保存してください。
- カートリッジインクは飲み込むと人体に有害です。お子様の手の届かない場所に保管してください。万が一、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 長期間使用されなかったインクは、変質すること考えられますので、できるだけ1年以内にご使用ください。

インク詰め替えの手順

必ずこの取扱説明書をよく読んで理解した上で作業を行ってください

詰め替える前に

長期間プリンタをお使い
になっていない場合、
詰め替えを行う前に必ず
印字ができるかどうか
ご確認ください。

●詰め替えるタイミングについて

- プリンタの説明書に従い、下記の項目を実施してください。
- 1.カートリッジのプリントヘッドをクリーニングします。
 - 2.セルフテストを行い、印刷が鮮明かどうか確認してください。
- 印刷が鮮明な場合、カートリッジ内にまだインクが残っていますので続けてご使用になれます。
- 印刷がかすれたり、全く印刷しない場合は、インクがほとんど残っていませんので、下記の要領でインクの詰め替えを行ってください。

ご準備ください



**乾燥しやすい場所では
作業しないでください**

印刷ヘッドやカートリッジ
に残ったインクが凝固し、
故障の原因となる恐れが
あります。

詰め替え方法

△注意

- プリンタの故障の
原因となる作業です
- インクの飛び散りの
原因となる作業です

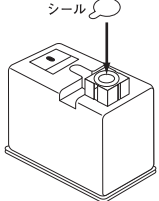
1 カートリッジのインク出口にシールを貼り付ける

カートリッジを裏向きにし、インク出口に付着したインクを完全に拭き取った後、インク出口を完全に覆い隠すようにシールを貼り付けてください。

※濡れたまま貼り付けたり、きちんと貼れていない場合、故障の原因となる事もあります。充分ご注意ください。

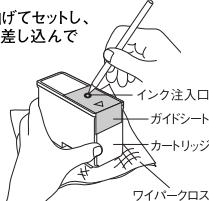
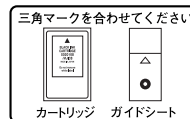


シールがズレているとインク漏れが発生してプリンタの故障の原因となる恐れがあります。



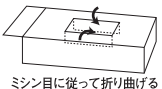
2 カートリッジにインク注入口を開ける

カートリッジ天面に図のようにガイドシートを折り曲げてセットし、ボールペン等の先をガイドシートのガイド穴に差し込んでインク注入口を開けてください。



3 カートリッジをホルダー(箱)に固定する

本製品の箱の裏面をミシン目に従って内側に折り曲げてホルダーを作り、インクカートリッジ天面のインク注入口が上になるようにホルダー部分にセットしてください。



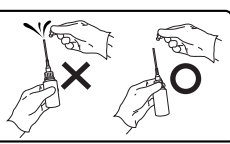
ミシン目に従って折り曲げる

4 インク容器からゴムキャップを外す

付属のポリ手袋を着用し、インク容器を立てた状態のまま、ノズルからゴムキャップをゆっくりと抜き取ってください。



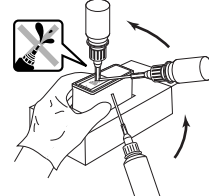
ボトル部分を持つと圧迫されたインクが飛び出る恐れがあります。必ずキャップ部分を持って作業を行ってください。



5 インク容器のノズルをインク注入口に差し込む

インク注入口にインク容器のノズルを上に向けてたまたま近づけ、ゆっくりとインク注入口にセットして奥まで差し込んでください。

※ノズルを差し込んでいる最中に、若干抵抗感がありますがそのまま深く差し込んでください。

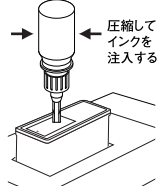


6 インクを注入する

インク容器のノズルをカートリッジのインク注入口に、奥までゆっくりと差し込んでください。ボトルをゆっくりと押し、インクの注入量を確認しながら、インクが漏れないようにゆっくりと注入してください。



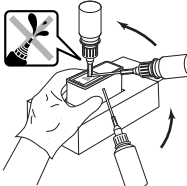
万が一注入中にインクが溢れてきたらインクが満たされた状態ですので、インクの注入を終了してください。また、過充填されたインクはプリンタの故障の原因となる可能性がありますので、注入口を下にしたままワイパークロスの上に1分程度置き、インクを排出してください。



7 インク容器を抜き取りゴムキャップをする

ゆっくりとインク容器を引き抜き、インクが落ちないように充分注意しながら、ノズルが上になるようにゆっくり返してください。インク容器をひっくり返したら、インク容器を立てた状態でゆっくりと確実にゴムキャップをしめてください。

※インク容器を強く握るとインクが飛び散る恐れがあります。充分ご注意ください。



※ゴムキャップがゆるいと、空気が侵入してインクの劣化の原因となります。必ずきちんとはめ込んでください。

はめる

ゴムキャップ

ノズル

インク容器

使い終わったインクは、ビニール袋等で密封して保管してください。

△ カートリッジは立てた状態で保管してください。

8 注入口にシールを貼る

カートリッジのインクを注入した注入口を完全に覆い隠すようにシールを貼り付けてください。



シールは確実に貼り付けてください。

9 インクを拭き取る

カートリッジの全面をワイパークロスで充分に拭き取ってください。



インクカートリッジにインクが付着しているとプリンタ内部で凝固して故障の原因となる事があります。

10 プリンタにカートリッジをセットする

インク出口からインク漏れが無いことを確認したのち、カートリッジに油性ペン等で詰め替え回数を書き込んだ後で、シールを貼ったままプリンタにセットしてください。



シールがきちんと貼れていないと、装着した時にカートリッジ内部に押し込まれてしまい、故障や不具合の原因となる事があります。必ずシールが確実に貼付されているか確認のうえ装着してください。

※インク出口からインクが漏れている場合は、故障の原因となる可能性がありますので、インク出口に貼ったシールを一度はがし、付属のワイパークロスの上に1分程度置き、インクを排出してください。

11 セルフテストを行う

プリンタの取扱説明書に従い、プリントヘッドのクリーニングを行った後、セルフテストを行ってください。

△ 印刷が安定するまでクリーニングテストを繰り返してください。

2回目以降はインク注入口に貼ったシールをはがし、同じ手順で詰め替えを行ってください。

トラブル発生時には裏面の
対応策をご確認ください。